

206. Aussagenkalkül = 於ケル "命題" の 定義 = 就イテ. (I)

伊藤 誠 (御影師範)

□ Warschau, Łukasiewicz 一派の流儀 = 従
ツテ、 p_1, p_2, p_3, \dots を以ツテ Elementare Aus-
sagenvariablen を表ハシ、 N, C を夫々 Negation
及ビ Folgen を意味スル ein- und zweistellig
+ Logische Operatoren トスル。今 "n 次ノ命題"
 $A^{(n)}$ = 對シテ次ノ如キ帰納的ニ定義ヲ與ヘル。

[定義] 1) $A^{(0)} = p_i \quad (i=1, 2, 3, \dots)$

2) $A^{(n+1)} = NA^{(n)} \text{ 又ハ } CA^{(i)}A^{(j)} \quad (i+j=n)$

此ノ定義 = ヨツテ、"命題" 並ビ = 其ノ "次數" ト云フ
概念ガ同時 = 規定サレル。ソシテ直グ余ルヤウ = "n 次ノ命
題ノ次數ハ其ノ中 = 含マレテキル N 及ビ C ノ數 = 等シイ" 事
= ナル。

斯様 = Aussagenkalkül = 於ケル n 次ノ命題 =
其ノ次數ヲ賦與シテ考ヘルコトハ色々ナ点ヲ便利ナヤウ = 思
ハレル。

今ソノ一樹トシテ Wien ノ K. Menger ガ

"Eine elementare Bemerkung über die
Struktur logischer Formeln" (Ergebnisse
eines mathematischen Kolloquiums,

(left 3, 1932) / 中 = 於イテ述べタ下記ノ定理ヲ証明シ
テ見ヨウ。

[K. Mengerノ定理]. N, C, p_1, p_2, \dots ノ
有限個ヲナル順列 P ガーツノ命題ヲ表ハスタメノ必要充分
條件ハ次ノミツデアル。

(I) P 内ノ C ノ數ハ p_1, p_2, \dots ノ數ヨリレーツ少ナイ。

(II) P ノ任意ノ "echter Anfangsschnitt"
内ノ C ノ數ハ p_1, p_2, \dots ノ數 = 等シイカ、又ハ
ソレヨリ大デアル。

(III) P ノ最後ノ文字ハ N デハナイ。

Mengerノ上記ノ論文デハ、タゞ N, C, p_1, p_2, \dots
等ノ Buchstaben ノ數 = ツイテ Induktionヲ行
ヘバヨイ、ト云フダケデ詳シイ証明ヲ與ヘテキナイ。且ツ
"命題"モハツキリ定義シテナイノデ、少シ定理ノ意味ガ明
瞭ヲ缺ク恐レガアル。

以下述バル証明 = 於テハ "命題"ハ先 = 掲ゲタ定義 = ヨ
ツテ規定サレタモノト解スル。

[証明] (a) 必要條件デアルコトノ証明。

α) 0次ノ命題 A_0 = 就テハ明ラカ。

β) n 次マデノ命題 $A^{(i)}$ ($i = 0, 1, 2, \dots, n$) = 就テ
先ノ三ツノ條件ガ満足セラレタトスル。然ルトキハ任
意ノ一ツノ $A^{(n+1)}$ ヲ取ツテ考ヘルト、ソノ定義 = ヨ
ツテ

$$(i) A^{(n+1)} = NA^{(n)} \quad \text{カ又ハ}$$

$$(ii) A^{(n+1)} = CA^{(i)}A^{(j)} \quad (i+j=n)$$

ノ何レカデアアル。 (i) ノ場合ニハ $A^{(n)}$ = 就イテノ先ノ假定カ
テ $A^{(n+1)}$ モ亦 (I), (II), (III) ノ條件ヲ満足スル。

(ii) ノ場合ニハ $A^{(i)}, A^{(j)}$ 中ノ C ノ数ガ夫々 p_1, p_2, \dots
ノ数ヨリ一ツ少ナイト云フコトカラ $CA^{(i)}A^{(j)}$ 中ノ C ノ数ハ
矢張り p_1, p_2, \dots ノ数ヨリ一ツダケ少ナイコトナリ、
條件 (I) ガ満足セラレル。 II ト III ノ成立ツコトモ同様ニ
言ハレル。

コレデ必要條件デアアルコトハ分ツタ。次ニ

(証明) (b) 充分條件デアアルコトノ証明。

今 N, C, p_1, p_2, \dots ノ m 個カラ成ル (重複ヲ許シテ)
一ツノ順列 P_m ヲ考ヘル。

証明スルコトハ “ P_m ガ (I), (II), (III) ノ條件ヲ満足ス
レバ、夫レハ先ニ掲ゲタ定義ニヨル一ツノ命題トナル。 ” ト
云フコトデアアル。 以下 m = 就イテ *Induktion* ヲ
行フ。

$\alpha)$ $m=1$ ノトキハ (I), (II), (III) ノ條件ヨリ $P_1 = p_i$
($i=1, 2, \dots$ ノ何レカ) デアルコトヲ要スル。 ヨツ
テ P_1 ハ定義ニヨリ 0 次ノ命題トナル。

$\beta)$ $i=1, 2, \dots, m$ マデノ P_i = 就イテハ既ニ上ノコ
トガ成立ツモノト假定スル。 扱テ P_{m+1} ハ六ノ何レカ
ノ形ヲ取ル。

$$(i) P_{m+1} = p_i P_m$$

$$(ii) P_{m+1} = N P_m$$

$$(iii) P_{m+1} = C P_m$$

(i) の場合 = ハ P_{m+1} の条件 (II) を満足シナイカラ考ヘル必要
ハナイ。

(ii) の場合 = ハ P_{m+1} が条件 (I), (II), (III) を満足スルコトカ
ラ P_m が矢張り之レ等ノ条件ヲ満足シ、従ツテ假定 = ヨリ或
次数 n ($n < m$) の命題ヲ表ハス。即チ

$$P_m = A^{(n)} \quad (n < m)$$

依ツテ $P_{m+1} = N A^{(n)} = A^{(n+1)}$

トナリ P_{m+1} の $(n+1)$ 次ノ命題トナル。

(iii) の場合 = ハ P_m の最初カラ入番目ノ文字マデノ Anfangs-
schritt P_m 中ニ於ケル p_i ノ数ト C ノ数トノ差ヲ δ 入デ
表ハセバ、 P_{m+1} が条件 (I), (II), (III) を満足スル結果次ノ
関係ヲ得ル。

$$\begin{cases} \delta_\lambda \leq 1 & (\lambda = 1, 2, \dots, m-1) \\ \delta_m = 2 \end{cases}$$

コレヨリ直チ = $\delta_{m-1} = 1$ デアルコトが知レル。

今 $\delta_1, \delta_2, \dots, \delta_{m-1}$ ノ中最初 = 1 トナルモノヲ

δ_k トスレバ

$$\begin{cases} \delta_\lambda \leq 0, & \lambda = 1, 2, \dots, k-1 \\ \delta_k = 1 \end{cases}$$

トナリ、 P_{m-k} ノ最後ノ文字ハ皆然 N 又ハ C トハナリ得ズ、

従ツテ P_{mk} ハ條件 (I), (II), (III) ヲ何レモ満足シ。一ツノ
命題ヲ表ハスコトトナル。即チ

$$P_{mk} = A^{(i)} \quad (i < k)$$

P_m ヲリ P_{mk} ヲ取り去ツタ残り P'_{mk} ヲ考ヘルト

$$P_{m+1} = C P_{mk} P'_{mk},$$

而シテ P_{m+1} 並ニ P_{mk} が共ニ條件 (I), (II), (III) ヲ満足
スルコトヨリ 容易ニ P'_{mk} モ亦知ルコトガ分ル。

従ツテ $P'_{mk} = A^{(j)} \quad (j < m - k),$

依ツテ $P_{m+1} = C A^{(i)} A^{(j)} = A^{(i+j+1)}$

トナリ、 P_{m+1} が亦 $(i+j+1)$ 次ノ命題トナル。

以上ニヨツテ充分條件デアル証明ガ済ム。

上ノ証明ヲ通ツテ眺メテミルト條件 (III) ハ (I), (II) ヲ
リ當然帰結サレルモノデアルカラ殊更等ゲルニ及バナイコ
トガ分ル。従ツテ Menger ノ條件ハ (I), (II) ヲ充分
デアイル。

[2] 次ニ有限個ノ *Elementare Aussagen-*
variablen (p_1, p_2, \dots, p_{a_0}) ヲリ形成サレル
 n 次ノ命題ノ数ヲ求メテミル。

n 次ノ命題ノ集合ヲ $\mathcal{O}^{(n)}$ デ表ハシ、ソノ数ヲ Q_n トス
ル。然ルトキハ

$$\begin{cases} \mathcal{O}^{(0)} = \{p_1, p_2, \dots, p_{a_0}\} \\ \mathcal{O}^{(n+1)} = N\mathcal{O}^{(n)} + \sum_{i+j=n} C \mathcal{O}^{(i)} \mathcal{O}^{(j)} \end{cases} \quad \text{----- (1)}$$

但シコト = $NOA^{(n)}$ ハ $NA^{(n)}$ ナル形ノ命題ノ集合, $COA^{(i)}OA^{(j)}$
 ハ $CA^{(i)}A^{(j)}$ ナル形ノ命題ノ集合ヲ表ハスモノトスル。而シ
 テ之等ノ集合中ノ命題ハ互ニソノ形ガ異ナツテキル。例ヘバ
 若シ

$$CA^{(i)}A^{(j)} = CA^{(i')}A^{(j')} \quad \left(\begin{array}{l} i+j = i'+j' = n, \\ i=i', j=j' \text{ ナルコトモ許ス} \end{array} \right)$$

トスレバ $A^{(i)}A^{(j)} = A^{(i')}A^{(j')}$

従ツテ \square = 述マタ *Menger* ノ定理ニヨツテ

$$A^{(i)} = A^{(i')}$$

デナケレバナラナイ。何故ナラバ假リ = $A^{(i)}$ ガ $A^{(i')}$ ノ
echte Anfangsschnitt デアルトスレバ條件(II) =
 ヨリ A_i 中ノ C ノ数ハ p_i ノ数ヨリウナクハナイ。然ルニ A_i
 ハツノ命題デアルカラ條件(I) = ヨリ、ソノ中ノ C ノ数ハ
 p_i ノ数ヨリウツダケウクナケレバナラナイ。之レハ矛盾ス
 ル。

依ツテ $A^{(i)} = A^{(i')}$, $A^{(j)} = A^{(j')}$ トナル。

コノコトヲ考ヘ入レルト上ノ OA_{n+1} ヲ表ハス式ヨリ直ク =

$$a_{n+1} = a_n + \sum_{i+j=n} a_i a_j \text{ ----- (2)}$$

ナル關係ヲ得ル。

今
$$\sigma_n = \sum_{i+j=n} a_i a_j$$

トオケハ $a_{n+1} = a_n + \sigma_n \dots \dots \dots (2)'$

コレヨリ $a_{n+1} = a_0 + \sum_{n=0}^n \sigma_n \dots \dots \dots (3)$

コノ式 = ヨツテ例ハハ

$$a_0 = 2$$

ノ場合 = 就イテ實際計算シテミルト

$$a_1 = 6$$

$$a_2 = 30$$

$$a_3 = 186$$

等トナル。

[3] [1], [2] = 於イテハ C, N + ルニツノ *Logische Operatoren* カラ構成セラレル命題 = 就イテ述べタガ, R -ツノ *Operator C* ノミヲ許ス場合 (例ハハ *Hilbert* ノ所謂 "*Positive Logik*" = 於ケルガ如キ, 又ハ *Scheffer* , "*Unverträglich*" *Operator* ヲ用ヒテ色々ノ *Aussage* ヲ構成スルセウ + 場合) モ全ク同様 = 論ゼラレル。此ノトキハ n 次ノ命題 A_n ノ定義ハ次ノ如クナル。

[定義] 1) $A^{(0)} = p_i \quad (i=1, 2, 3, \dots)$

2) $A^{(n+1)} = CA^{(i)}A^{(j)} \quad (i+j=n)$

又 *Frege* ノ定理ハ其ノ儘成立スルコトガナル。

($n+1$) 次ノ命題ノ数 a_{n+1} ハコノ場合次ノ如クナル。

$$a_{n+1} = \sum_{i+j=n} a_i a_j = \sigma_n$$

例へば $a_0 = 2$

トスルト $a_1 = 4$

$a_2 = 16$

$a_3 = 80$

等トナル。實際 Scheffer, Operator 7 基礎トシテ作リ得ル 2 次ノ命題ハ 16 個デアイル。

- (1) $p_1 | p_1 | p_1 \sim \bar{p}_1 \vee p_1$
- (2) $p_1 | p_1 | p_2 \sim (p_1 \rightarrow p_2)$
- (3) $p_1 | p_2 | p_1 \sim (p_1 \rightarrow p_2)$
- (4) $p_1 | p_2 | p_2 \sim (p_1 \rightarrow p_2)$
- (5) $p_2 | p_1 | p_1 \sim (p_2 \rightarrow p_1)$
- (6) $p_2 | p_1 | p_2 \sim (p_2 \rightarrow p_1)$
- (7) $p_2 | p_2 | p_1 \sim (p_2 \rightarrow p_1)$
- (8) $p_2 | p_2 | p_2 \sim \bar{p}_2 \vee p_2$
- (9) $p_1 | p_1 | \bar{p}_1 \sim p_1 \vee \bar{p}_1$
- (10) $p_1 | p_1 | p_2 \sim (p_2 \rightarrow p_1)$
- (11) $p_1 | p_2 | p_1 \sim (p_1 \rightarrow p_2)$
- (12) $p_1 | p_2 | p_2 \sim (p_2 \rightarrow p_1)$
- (13) $p_2 | p_1 | p_1 \sim (p_1 \rightarrow p_2)$
- (14) $p_2 | p_1 | p_2 \sim (p_2 \rightarrow p_1)$
- (15) $p_2 | p_2 | p_1 \sim (p_1 \rightarrow p_2)$
- (16) $p_2 | p_2 | p_2 \sim p_2 \vee \bar{p}_2$

~ノ右ニ並記シタ式ハ zweiwertiger Aussagen

kalkül = 於ケル äquivalent + Aussage

デアツテ、之等 = ヲツテ見ルト

(1) ~ (8) ~ (9) ~ (16), (2) ~ (3) ~ (4) ~ (11) ~ (13) ~ (15),
(5) ~ (6) ~ (7) ~ (10) ~ (12) ~ (14)

トナリ、只三ツノ Aussagefunktion ヲ與ヘルノ
ミデアルコトが知ラレル。

又 $\alpha^{(0)}$, $\alpha^{(1)}$ ハ夫々

$$\alpha^{(0)} = \{p_1, p_2\},$$

$$\alpha^{(1)} = \left\{ \begin{array}{l} p_1 | p_1 \sim \bar{p}_1 \vee p_1, p_1 | p_2 \sim \bar{p}_1 \vee \bar{p}_2, \\ p_2 | p_1 \sim \bar{p}_1 \vee \bar{p}_2, p_2 | p_2 \sim p_2 \vee \bar{p}_2 \end{array} \right\}$$

デアルカラ、結局 p_1, p_2 ノ二個ノ Elementare Aus-
sagevariablen カラ構成サレル異ナツタ Aus-
sagefunktion ノ数ハ zweiwertiger A.K. ノ
場合 = ハ只次ノ 6 個ノミデアル。

$$p_1 \vee \bar{p}_1, p_1, p_2, \bar{p}_1 \vee p_2, p_1 \vee p_2, \bar{p}_1 \vee \bar{p}_2.$$

然ル = 實際ハ p_1, p_2 ノ Argument トスル Aussage-
funktion ハ $2^2 = 16$ 個存在スルカラ、上記以外 10 個ノ
A.-funktion ハ 3 個又ハソレ以上ノ Scheffer,
Operator ヲ用ヒナケレバ定義シ得ナイコトが分ル。

—(1935, 9, 12)—